

## 『 CHANGE (チェンジ) 』

楽しく学ぼう 農山村体験を コミュニケーションを 集団行動を  
そして変わろう まずは私 そしてグループ 5年生みんな

広島市立鈴が峰小学校 対象学年(5年)

体験活動の種類 自然 交流 文化 勤労生産

体験活動場所・宿泊場所 山県郡北広島町・農家民宿

### 【学校紹介】

本校は、広島市西部のほぼ中央、鈴が峰山を背景とした高台に位置し、東方眼下には広島市の中心部を望み、南方眼下には活気あふれる商工センターと遙か彼方に浮かぶ宮島・似島・江田島など瀬戸の島々が一望できる風光明媚な所にある。昭和54年に開校し、30年余りの比較的新しい歴史の学校である。地域は町づくりに情熱を燃やし、連帯を広げていく中で「地域は子どもを守り、学校は子どもを育てる。」という理念が生まれ、温かく学校を支援する風土と教育環境ができあがっている。学校は、ことばの教育、予防的生徒指導の推進で県や市の先進的な実践を行ってきた。平成22年度より、総合的な学習の時間の研究を推進し、平成22年11月に広島県の研究大会で実践発表を行った。



校長名：土井孝善  
児童数(学級数)：253名(11学級 特別支援学級を含む)  
所在地：広島市西区鈴が峰町36-2  
電話番号：082-277-8160  
URL：<http://www.suzugamine-e.edu.city.hiroshima.jp/>

### 【体験活動のねらい】

体験活動を通して、自主・自立の精神を養う。

自然や人とのかかわりを通して、規範意識の向上を図り、思いやりや感謝の心を養う。

### 【指導計画】

実施時期	活動内容	実施時間数	教育課程上の位置づけ	実施場所	指導者
5月	<事前学習> 集団生活向上のために、役割や責任を果たす態度や思いやり、協力する態度について学習する。	3	道徳	学校	担任
6月	学習テーマの設定、班別の目標設定を行い、受入先へ手紙を書く。	3	学級活動		
7月	受入先等の事前調査。	2	社会科、理科		

8月 30日 ～ 9月 2日	< 集団宿泊活動 > 八幡湿原トレッキング 田舎暮らし体験 川魚体験 伝統芸能体験 りんご作業体験 キャンプファイヤー 奉仕活動 まとめの会(交流会)	3 2	学校行事 総合的な学習 理科 社会科 家庭科	山県郡 北広島町内	トレッキング ガイド 農家民宿 体験活動 指導員  担任
9月  9～10月  10月	< 事後学習 > 体験活動の感想文(礼状)を作成する。 食を見つめて テーマ毎の活動をまとめ、成果発表会の計画・資料作成を行う。 学んできた米作りについて総合的な学習の米作りに生かす。 後期、体験活動で学んだことを活用し、学級毎に決めた奉仕活動を続ける。	2  1 8  2	国語科  家庭科 総合的な学習  学級活動、道徳	学校	担任
11月	< 学習発表会 > プレゼンテーション発表 レポート発表	2	総合的な学習	学校	担任

## 【体験活動の概要】

### < 交流体験 >

農家民宿に3～4名のグループ毎に分泊する田舎暮らし体験



(農家の仕事、食事作り、学校で米づくりをしていたため米づくりについてのお話を聞く等)を通して、家族のよ

うに交流の時間を過ごした。また、最後にお別れ交流会の時間をもち、感謝の気持ちを伝えた。涙のお別れ会になった。



### < 奉仕体験 >



農家民宿での生活の中やお別れの日、それぞれの農家への恩返しとして、自分たちの感謝の気持ちを掃除、畑の草抜きブロック堀づくりの手伝い、野菜の収穫の手伝い等、自分たちのできるお手伝いで汗を流した。農家の方の生き方や考え方に触れ、お手伝いという気持ちから自分たちの仕事という気持ちへと変化したようである。

## < 神楽体験 >

子どもたちの生活の中で出会うことのない日本の伝統文化「神楽」を目の当たりにして子どもたちの感動は最高潮。

見学した後、神楽のお話を聞いたり、楽器に触れたり。お面を付けたり、衣装を着せてもらったりして、さらに感動を深めた。伝統文化の継承のための熱い思いや、日々の練習の苦労話など、心を揺さぶられる時間を持つことができた。



## 【体験活動の効果を高める事後学習】



総合的な学習で行っているミニ田んぼでの米作りに活かすため、体験活動中の課題として、農家の人の米作りに関する工夫や情熱、苦労などについて聞き取りを行った。帰校後そのことをまとめ、自分たちの米作りの学習や、できたお米の活用方法についての話し合い等に生かすことができた。さらに地域の協力者などに感謝の気持ちを伝える活動を行うことにつなげた。

## 【交流先や施設等との連携】

第1回の事前の打合会は、現地での活動や施設、宿泊先の詳細について、北広島町の受け入れ窓口になる方から説明を受けた。学校に来ていただいたので時間に余裕が持て良かった。

第2回の事前の打合会は、1日かけ、現地での下見調を行った。児童の動きがより具体的にイメージできてとても良かった。

その他に、メール等でアレルギー食、緊急時対応策、変更事項の連絡等について具体的にやりとりできたことはとても良かった。

活動中に、受け入れ先の担当者の訪問もあり、各活動施設やかかわる方々とのスムーズなコミュニケーションを図ることができた。安全に対する配慮も万全を期していただいた。活動中の様子を、北広島町のホームページにその日にアップしてもらい、保護者の理解が進み、安心感をもってもらうことにつながった。

事後においては、児童の感謝の気持ちを伝える手紙のやりとりを中心に行った。また、リンゴ作業体験で作業したリンゴが後日届いたことも、児童の心を揺さぶることにつながった。

## 【評価の工夫】

「米作りインタビューシート」「日々の振り返りシート」「活動全体の振り返りシート」の3つのシートを活用して、児童の成長をとらえるようにした。

### 児童感想（一部抜粋）

今まで、全く知らない人と4日間もの間生活することはありませんでした。家ではいつもご飯をつくってもらっていたけど、みんなでご飯を作って食べることができ、食事の支度の大切を知ることができました。民宿の生活で私は食べるができなかったピーマン・ゴーヤ・ニンジン・ナスを我慢したけど食べられるようになったり、人の意見に耳を傾けることが出来るようになったりしたことが私の成長だと思います。今回の体験を通して家ではできない体験をしました。採れたてのトマトはすごく甘くてびっくりしました。民宿のお父さんお母さんありがとう。

## 【安全面の配慮事項】

事前の緊急連絡体制，受け入れ医療機関の確認，保護者との連絡確認を行った。

児童の事前健康診断を実施するとともに，食べ物・動物・植物アレルギー調査，携行薬の確認を行った。

現地下見において行動範囲と危険箇所の確認を行った。

宿泊農家と児童の健康状態について連絡を取り合った。活動前には必ず健康観察を行った。

緊急車両を待機させた。

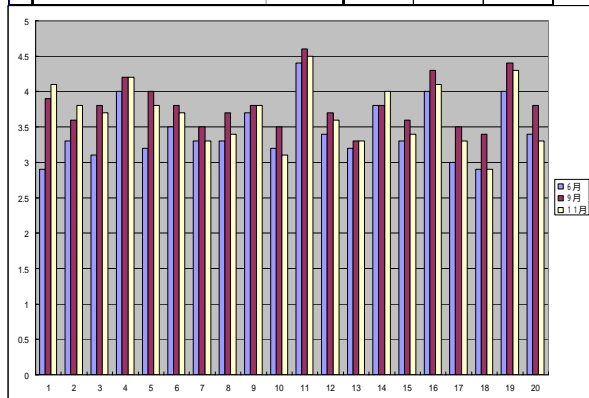
## 【体験活動の成果と課題】

児童アンケートの結果から，活動直後の評価（9月）が高い傾向があるが，質問1，質問2は，事後の結果（11月）が高くなっており，仲間を意識して行動できるようになっていることが伺える。また，質問4，質問9の結果から，責任感，自立心の成長も伺える。何より，感謝の気持ちを言葉にできる児童に変容していることは，大きな成果といえる。

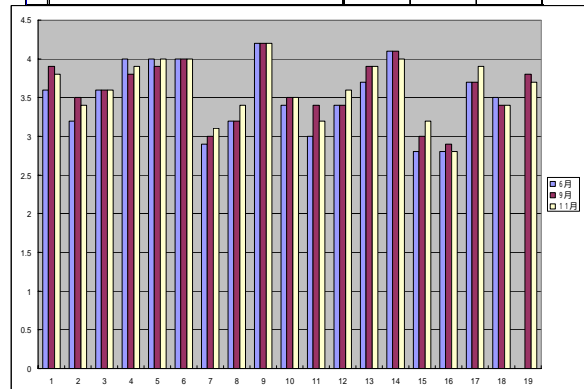
保護者アンケートの結果からは，質問4・5・7・8・12・15・17において事後の結果（11月）が向上しており，児童の成長を肯定的に受けとめている実態が伺える。

課題となる指標，「分からないことは自分で調べる」ことができていると児童も保護者も感じているため，この点を学校の重点課題としてとらえ，具体的な取組を実施していきたい。

番号	質問項目	6月	9月	11月
1	だれでも仲良くできる。	2.9	3.9	4.1
2	自分とちがう意見や考えを受け入れることができる。	3.3	3.6	3.8
3	よいと思うことは，自分から進んでやる。	3.1	3.8	3.7
4	自分に割り当てられた仕事は，しっかりやる。	4	4.2	4.2
5	きまりやルールを守ることができる。	3.2	4	3.8
6	していいこと，してはいけないことの判断ができる。	3.5	3.8	3.7
7	自分がからす地域のことをもっと知りたい。	3.3	3.5	3.3
8	自分がからす地域のために何かしたい。	3.3	3.7	3.4
9	自分の力で，問題を解決しようとする。	3.7	3.8	3.8
10	自分のいいところが分かる。	3.2	3.5	3.1
11	「ありがとう」が言える。	4.4	4.6	4.5
12	相手の立場になって考えることができる。	3.4	3.7	3.6
13	腹が立っても，おさえることができる。	3.2	3.3	3.3
14	お金や物のむだづかいをしない。	3.8	3.8	4
15	花や風景などの美しいものに感動できる。	3.3	3.6	3.4
16	生きものを，大切にできる。	4	4.3	4.1
17	自分で問題点や課題を見つけることができる。	3	3.5	3.3
18	わからないことは自分で調べる。	2.9	3.4	2.9
19	だれにでも，あいさつができる。	4	4.4	4.3
20	人の話をきちんと聞くことができる。	3.4	3.8	3.3



番号	質問項目	6月	9月	11月
1	だれでも仲良くできる。	3.6	3.9	3.8
2	自分とちがう意見や考えを受け入れることができる。	3.2	3.5	3.4
3	よいと思うことは，自分から進んでやる。	3.6	3.6	3.6
4	自分に割り当てられた仕事は，しっかりやる。	4	3.8	3.9
5	きまりやルールを守ることができる。	4	3.9	4
6	していいこと，してはいけないことの判断ができる。	4	4	4
7	自分がからす地域のことをもっと知ろうとしている。	2.9	3	3.1
8	自分の力で，問題を解決しようとする。	3.2	3.2	3.4
9	「ありがとう」が言える。	4.2	4.2	4.2
10	相手の立場になって考えることができる。	3.4	3.5	3.5
11	腹が立っても，おさえることができる。	3	3.4	3.2
12	お金や物のむだ遣いをしない。	3.4	3.4	3.6
13	花や風景などの美しいものに感動できる。	3.7	3.9	3.9
14	生きものを，大切にできる。	4.1	4.1	4
15	自分で問題点や課題を見つけることができる。	2.8	3	3.2
16	わからないことは自分で調べる。	2.8	2.9	2.8
17	だれにでも，あいさつができる。	3.7	3.7	3.9
18	人の話をきちんと聞くことができる。	3.5	3.4	3.4
19	体験活動を通して子どもが成長したと思う。		3.8	3.7



### 児童感想（一部抜粋）

以前の私は腹が立つことがあったらすぐ大声を出したり，自分が悪いのに謝ることができなかつたりしました。ですが，今回の活動を通じて協力することの大切さ，仲間の大切さを学びました。それからは，腹が立っても少し我慢できるようになったと思います。そのことが私にとっての change であり，成長したところだと思います。